新潟薬科大学

身近にある食べ物からおくすりになるものをみつけよう!

分野

先生(代表者)	大和 進(やまと すすむ) 薬学部・勢					
自己紹介	現在の専門分野は分析化学という	. つ				
	た薬がどのくらい血液の中にあるのな	t.				
	体の中の成分がどのように変化しているのか、などを調べる方					
	法を研究しています。 趣味は旅行と旅先での"食"です。だか					
	ら、"食いしん坊"なのです。学生時代には"漢方薬"を研究する					
	部活を通して多くの友達をつくり、今でも交流を続けています。					
開催日時・	平成 27 年 7 月 31 日(金)	(対象)	小学5, 6年	(人数)	各日 24 名	
主な募集対象	8月 1日(土)		生、中学生		台口 24 石	
集合場所·時間	新潟薬科大学	(集合時間)				
開催会場	新潟薬科大学					
(集合場所)	住所:〒956-8603 新潟市秋葉区東島 265-1					
アクセスマップ : http://www.nupals.ac.jp/about/access.html						
内 容						

かぜ薬である葛根湯(かっこんとう)の成分をそれぞれ調べ、身近にある食品とのつながりを見つけま す。また、葛根湯の中で、病院で緊急時にも使われているおくすりの成分をとりだしてみます。さらに、お 茶の中に含まれるポリフェノールという成分を取り出し、この成分の病気を治す働きについて学びます。 まとめとして、クッキーを食べてクッキーに含まれる成分と葛根湯の成分を比較し、そしてポリフェノール



スケジュール 持 ち 物

7月31日のみ【送迎バス】

村上駅-中条駅-新潟駅-新津駅-本学

8月1日のみ【送迎バス】

津川駅-五泉駅-新津駅-本学

(両日とも同一日程)

10:00~10:30 受付(新潟薬科大学正面玄関集合)

10:30~11:00 開講式

(あいさつ、オリエンテーション、科研費の説明)

休憩 11:00~11:10

11:10~11:40 講義

「食品のなかからくすりをみつける(講師:大和 進)」

筆記用具

(参加生徒の皆さんの昼食は こちらで準備します。引率の 保護者の方、先生は各自ご 用意ください。)

特記事項

動きやすい服装でご参加くだ さい。

安全のため、スニーカーでの 参加をお勧めします。

11:40~12:30 昼食休憩(軽食、お茶) ・送迎バスをご利用の方は、 実験 1 (葛根湯の分別、エフェドリンの検出) 必ず大学に乗車の申し込み 12:30~13:20 休憩 をしてください。送迎バスの 13:20~13:30 13:30~14:20 実験 2(緑茶中のポリフェノールの分析) 時刻については新潟薬科大 14:20~14:50 クッキータイム(実験3ポリフェノール量の違う 学 教育連携推進センター 緑茶の試飲、シナモンクッキー試食) HP で確認してください。 研究室紹介と大学内見学 14:50~15:10 15:10~15:40 修了式(未来博士号授与、アンケート記入)、終了

7月31日のみ【送迎バス】

本学-新津駅-新潟駅-中条駅-村上駅

8月1日のみ【送迎バス】

本学-新津駅-五泉駅-津川駅

《お問い合わせ・お申し込み先》

所属·氏名:	新潟薬科大学 教育連携推進センター		
住 所:	新潟市秋葉区東島 265-1		
TEL番号:	0250-25-5000		
FAX番号:	0250-25-5021		
E-mail:	edu@nupals.ac.jp		
申込締切日:	平成 27 年 7 月 22 日(水)		

《プログラムのテーマと関係する科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
				副腎皮質培養細胞系を用いる抗ス
大和 進	H19-20	基盤研究(C)	19590047	トレス薬評価を目的としたステロ
				イド類定量法の開発
				脳エネルギーの代替にケトン体を
大和 進	H23-25	基盤研究(C)	23590205	利用するアルツハイマー病の新規
				治療戦略



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック!

http://kaken.nii.ac.jp/

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。